

卒業式に向けて

いよいよ3月となりました。この時期は三寒四温と言われ、寒暖差も激しいですが、着実に季節は春へと移行しています。校内の桜のつぼみも少しずつ膨らみ始め、春の訪れを告げようとしています。

今年は1月1日に能登半島地震が発生し、多くの方が被災され、今なお避難生活を余儀なくされている方がたくさんおられます。2011年3月11日には東日本大震災が発生しました。京都でも2月には度々地震が発生しています。

向日市では、3月11日に向日市防災一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）が行われます。学校でも避難訓練を実施しますが、本当の災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ訓練に真剣に臨み、体で覚えることが大事であると同時に、想定以上の備えをしておくことが大切です。安全対策は受け身ではなく、自分の命を守り、自ら進んで周囲の人へも配慮する行動力が、より多くの命を救うことにつながります。

中学生のみなさんが非常災害に直面したとき、自分はどのような行動をとればよいのか、是非考えてほしいと思います。

さて、3年生は、いよいよ公立中期選抜に向けて最後の追い込みの時期となりました。すでに進路が決まった生徒は、仲間の進路が決まるのを待ち望み、落ち着いた態度で学校生活を送っています。子どもたちには、義務教育の締めくくりを、最後までこれまでどおり学習に向き合いながら、仲間との絆を大切に、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

振り返ってみれば、いつも笑顔を絶やすことなく、明るく元気にあいさつができる学年でした。コロナ禍で何かと制限のある状況の中でも、西ノ岡中学校の伝統を引き継ぎ、3年生として体育祭や文化祭など学校行事にも精一杯取り組み、1、2年生の良き手本となりました。この3年間で心身共に大きく成長しました。



3年生のみなさん、卒業式は、これまでお世話になった人たちへの感謝を伝える式典です。そして、新たな目標に向けてその一歩を踏み出す決意を固める場です。3月15日の卒業式には、西ノ岡中学校で過ごした3年間の集大成として、誇りと自信を持ち、これまで支えてくれた人への感謝の気持ちを胸に凜とした態度で臨んでください。

卒業生135名全員が新たなステージへと、大きく羽ばたくことを心より願っています。

校長 岡本 英明
学校だより3月号より